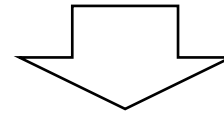
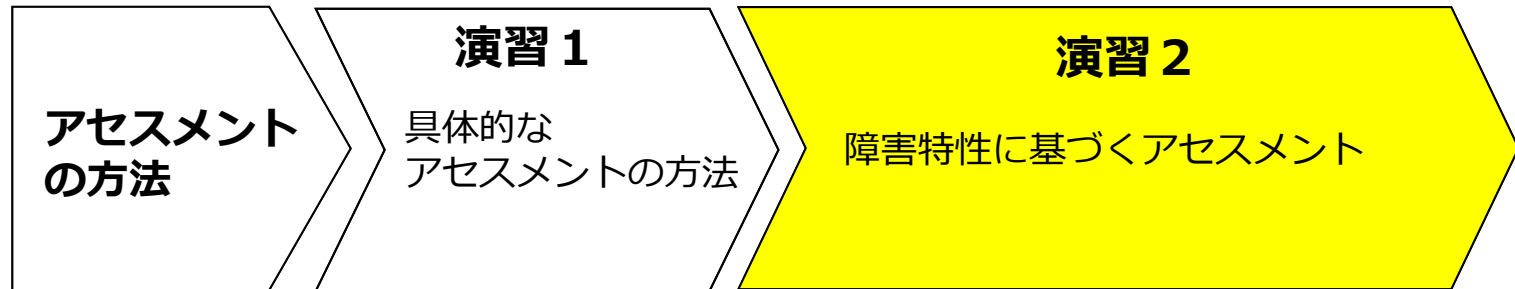


アセスメントの方法

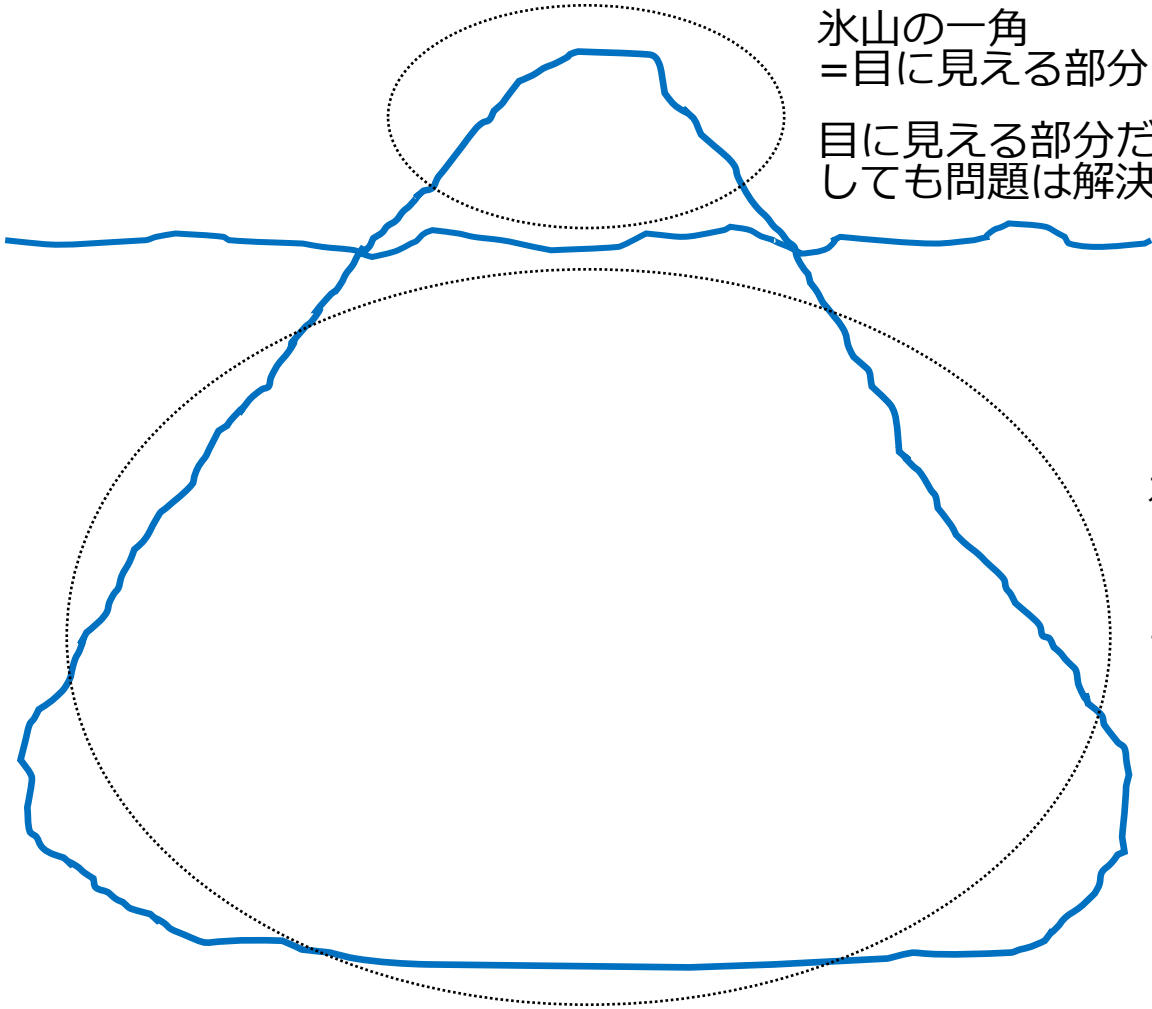
- ・ 障害特性に基づくアセスメント



- i) 氷山モデルについて
- ii) 課題となる行動の確認
- iii) 本人の特性を整理する
- iv) 行動が現れている環境や状況を整理する
- v) 必要なサポートを整理する

i) 氷山モデルについて

行動の背景を知るための「冰山モデル」



The diagram illustrates the iceberg model of behavior. A solid blue line represents the visible part of the iceberg above the water surface. A dotted line represents the much larger, submerged part of the iceberg below the surface. A horizontal line indicates the water level. A small section of the top of the iceberg is circled with a dotted line, representing the visible part. A large section of the submerged part is also circled with a dotted line, representing the hidden part.

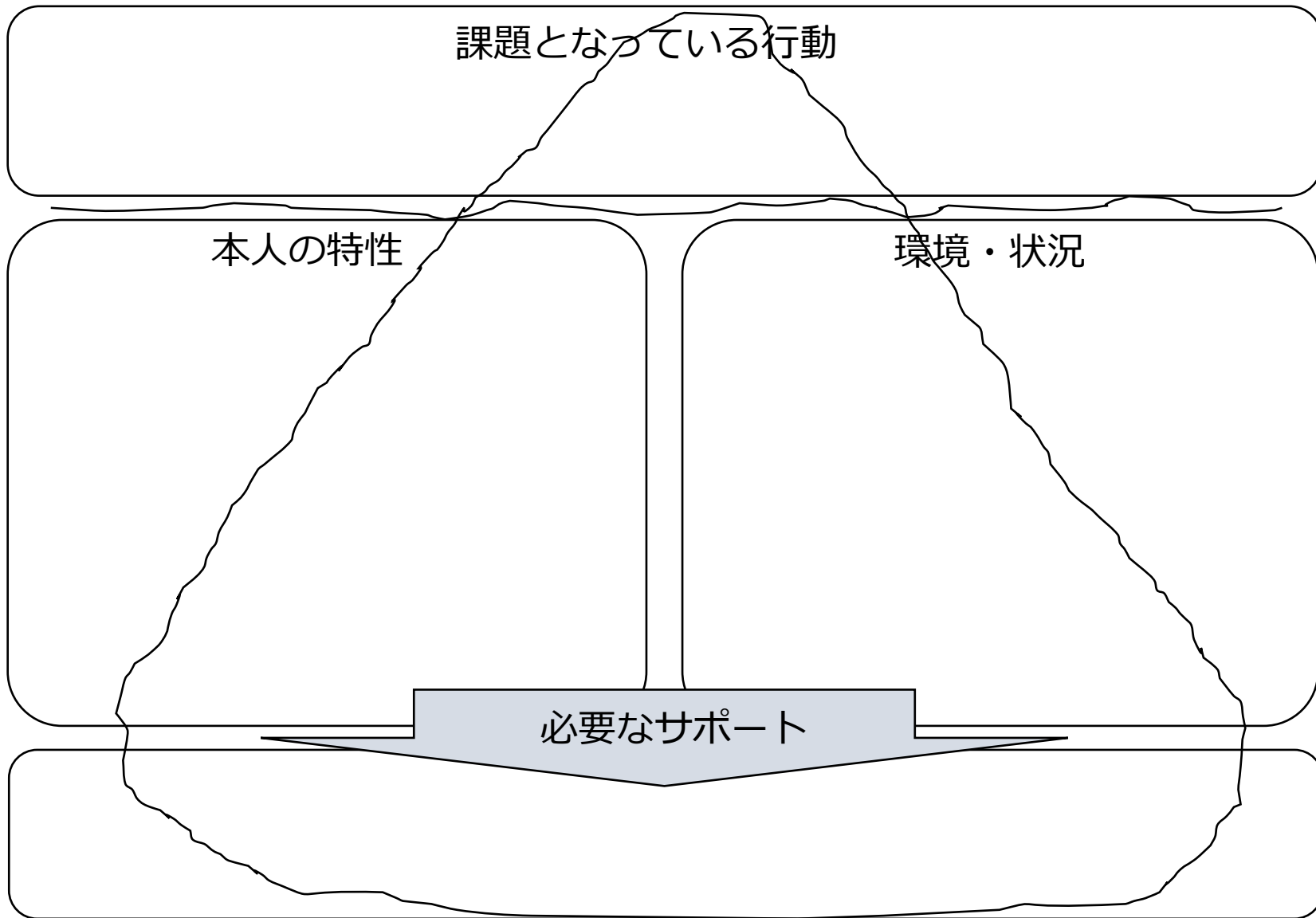
氷山の一角
=目に見える部分

目に見える部分だけに対応を
しても問題は解決しない。

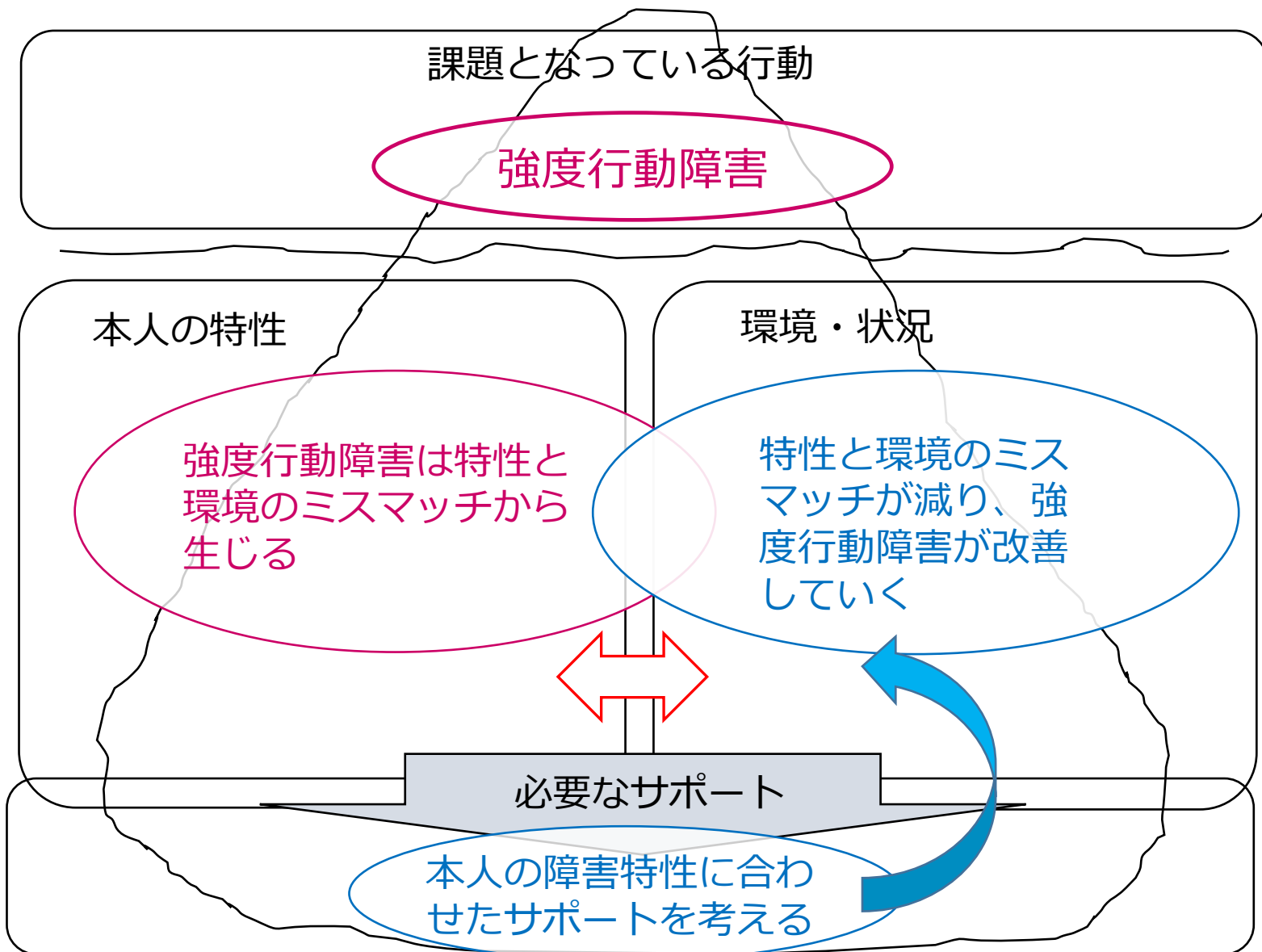
水面下に大きな塊がある
=目に見えない部分

目に見えない部分を理解して
アプローチすることで、表面
に出ている問題が小さくなる。

冰山モデルシート



氷山モデルシート



氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート		商	✓	本人の具体的な行動
社会性	人の集まりとの関係に楽しさがある	★ 関係が合わない		
	状況の理解が難しい	★ 人との関わり方が方向性があることが多い ★ 相手の気持ちに気づく行動が難しい ★ 周囲に合わせることができない ★ 周囲の状況に対して興味を示さない ★ 危険や迷惑、社会のルールに関係する行動をする		
コミュニケーション	理解が難しい	★ 言葉で指示されても行動できない ★ 相手の言葉や態度がわからない ★ 行動が簡単なようで自分の気持ちを伝えない ★ 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
	発音が難しい	★ やり方がわからない ★ やり方がわからない ★ 言葉が聞き取れない ★ 言葉が聞き取れない		
	状況が難しい	★ 状況がわからない ★ 状況がわからない ★ 状況がわからない ★ 状況がわからない		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	★ 自分で予定を立てることができない ★ 予定の変更が難しい ★ 予定の変更が難しい		
	変化への対応が難しい	★ 変化への対応が難しい ★ 変化への対応が難しい ★ 変化への対応が難しい ★ 変化への対応が難しい		
感覚	物に一部に対する強い興味	★ 物に一部に対する強い興味 ★ 物に一部に対する強い興味 ★ 物に一部に対する強い興味 ★ 物に一部に対する強い興味		
	感覚が過敏または鈍感	★ 感覚が過敏または鈍感 ★ 感覚が過敏または鈍感 ★ 感覚が過敏または鈍感 ★ 感覚が過敏または鈍感		

特性確認シート		課題となっている行動（本人が行っている行動）	『 』
社会性	人の集まりとの関係に楽しさがある	1) 相手への関心が強い	A) 読み取ってうまく、黙っていてもいい、具体的に伝える(見え方の見直し、やり方の見直し)
	状況の理解が難しい	2) 相手の気持ちに気づく行動が難しい 3) 周囲に合わせることができない 4) 周囲の状況に対して興味を示さない 5) 危険や迷惑、社会のルールに関係する行動をする	B) 誰にどう伝えたいかを具体的に伝える(見え方の見直し、やり方の見直し) C) よく伝える(方法の見直し、やり方の見直し)
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい 8) 言葉の意味がわからない 9) 相手の言葉や態度がわからない 10) 話し言葉が伝わらない 11) 言葉で自分の気持ちを伝えることができない	D) 本人が理解できる見出し(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)で伝える(やり方の見直し、見え方の見直し) E) 本人が理解しやすいツールを(文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など)提供する(やり方の見直し、見え方の見直し)
	発音が難しい	13) 発音や状況に合わせたコミュニケーションが難しい 14) 発音や状況に合わせた非言語コミュニケーションが難しい 15) 状況に合わせて発音や状況がわからない	F) 視覚的なツールでやり取りができるようにする(やり方の見直し、見え方の見直し)
	状況が難しい	16) 周囲の状況に合わせた行動が難しい 17) 予定を立てることが難しい 18) 予定の変更が難しい 19) 予定の変更が難しい	G) 本人に分かりやすい予定や変更を伝える(時間の見直し) H) 始まりや終わりを分かりやすく示す(時間の見直し、場所の見直し)
	想像力	20) 想像力が足りない 21) 想像力が足りない 22) 想像力が足りない 23) 想像力が足りない	I) 活動や目標を具体的に示すことができるようにする(方法の見直し) J) 最初から正しい方法で行うことができるようにする(方法の見直し)
	感覚	25) 感覚の過敏や鈍感がある 26) 感覚の過敏や鈍感がある 27) 感覚の過敏や鈍感がある 28) 感覚の過敏や鈍感がある 29) 感覚の過敏や鈍感がある 30) 感覚の過敏や鈍感がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする(場所の見直し) L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する(場所の見直し)

環境確認シート		項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	物	場所	場所が得意/苦手か(音、照明、気味、物、色に響いて等) 場所のサインが適切かどうか 支障をよそよそしい位置は適切かどうか その他	
		場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所でも異なる目的の活動をしていますか 環境整備はできていますか 気が取やすい環境になっていませんか その他	
状況	音	状況	本人の体調はいいと比べてどうですか その活動の前後に本人の苦手な動作や神経などが含まれていませんか その活動の目的(どうするか、どうなったらわかるのかなど)は理解できていますか その他	
		音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手なものがありますか	
気温	湿度	気温	その場所の気温は快適でしたか(あるいは暑かった・寒かった等) その気温は本人にとって快適なものでしょうか	
		湿度	その場所の湿度は快適でしたか(あるいは蒸らしていた・乾燥していた等) その湿度は本人にとって快適なものでしょうか	
臭い	その他	臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手なものがありますか	
		その他	その他本人が不安定になる原因がもしあれば	

強み（ストレンス）確認シート		本人の強み（ストレンス）	活かせる場面や状況
わかること・得意なこと	好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど）	わかること・得意なこと 例) なかなか読める、ペイントボールが大好き、ノリノリが上手、など	
		好きなこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど） 例) ノリノリが得意、○○が大好き、色が好き	
得意なこと（正確に、速く、正確に、キャラクターなど）	得意なこと（正確に、速く、正確に、キャラクターなど）	得意なこと（正確に、速く、正確に、キャラクターなど） 例) 目的が明確にできること、言葉が上手に伝わること、など	
		得意なこと（正確に、速く、正確に、キャラクターなど） 例) 目的が明確にできること、言葉が上手に伝わること、など	
その他	その他	その他	

行動チェックシート

特性確認シート

環境確認シート

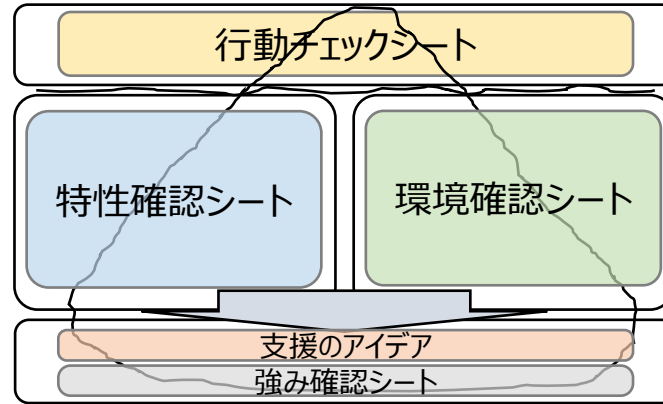
強み確認シート

支援のアイデア

氷山モデルシートと補足シートの関係

行動チェックシート	
1. 目標を設定する	2. 目標を達成するために必要な行動をリストアップする
3. リスクを特定し、対策を講じる	4. 進捗を確認し、必要に応じて計画を修正する
5. 完了を確認し、振り返りを行う	6. 成功要因を分析し、今後の参考に活かす

特性確認シート	
1. 対象の特性を特定する	2. 特性の発生条件を明らかにする
3. 特性の発生頻度を把握する	4. 特性の発生場所を特定する
5. 特性の発生原因を調査する	6. 特性の発生影響を評価する
7. 特性の発生防止策を講じる	8. 特性の発生対応策を講じる
9. 特性の発生監視体制を整える	10. 特性の発生報告体制を整える
11. 特性の発生改善策を講じる	12. 特性の発生防止策を評価する
13. 特性の発生防止策を再評価する	14. 特性の発生防止策を継続的に改善する
15. 特性の発生防止策を普及させる	16. 特性の発生防止策を定文化する
17. 特性の発生防止策を教育する	18. 特性の発生防止策を研修する
19. 特性の発生防止策を評価する	20. 特性の発生防止策を改善する
21. 特性の発生防止策を再評価する	22. 特性の発生防止策を継続的に改善する
23. 特性の発生防止策を普及させる	24. 特性の発生防止策を定文化する
25. 特性の発生防止策を教育する	26. 特性の発生防止策を研修する
27. 特性の発生防止策を評価する	28. 特性の発生防止策を改善する
29. 特性の発生防止策を再評価する	30. 特性の発生防止策を継続的に改善する



環境確認シート	
1. 環境の現状を把握する	2. 環境の変化を監視する
3. 環境のリスクを特定する	4. 環境のリスクを評価する
5. 環境のリスクを防止する	6. 環境のリスクを対応する
7. 環境のリスクを監視する	8. 環境のリスクを改善する
9. 環境のリスクを再評価する	10. 環境のリスクを継続的に改善する
11. 環境のリスクを普及させる	12. 環境のリスクを定文化する
13. 環境のリスクを教育する	14. 環境のリスクを研修する
15. 環境のリスクを評価する	16. 環境のリスクを改善する
17. 環境のリスクを再評価する	18. 環境のリスクを継続的に改善する
19. 環境のリスクを普及させる	20. 環境のリスクを定文化する
21. 環境のリスクを教育する	22. 環境のリスクを研修する
23. 環境のリスクを評価する	24. 環境のリスクを改善する
25. 環境のリスクを再評価する	26. 環境のリスクを継続的に改善する

強み確認シート	
1. 強みの現状を把握する	2. 強みの変化を監視する
3. 強みのリスクを特定する	4. 強みのリスクを評価する
5. 強みのリスクを防止する	6. 強みのリスクを対応する
7. 強みのリスクを監視する	8. 強みのリスクを改善する
9. 強みのリスクを再評価する	10. 強みのリスクを継続的に改善する
11. 強みのリスクを普及させる	12. 強みのリスクを定文化する
13. 強みのリスクを教育する	14. 強みのリスクを研修する
15. 強みのリスクを評価する	16. 強みのリスクを改善する
17. 強みのリスクを再評価する	18. 強みのリスクを継続的に改善する
19. 強みのリスクを普及させる	20. 強みのリスクを定文化する
21. 強みのリスクを教育する	22. 強みのリスクを研修する
23. 強みのリスクを評価する	24. 強みのリスクを改善する
25. 強みのリスクを再評価する	26. 強みのリスクを継続的に改善する